

去る10月2日に大阪協会クリーンアップ活動が3年ぶりに淀川河川敷にて開催されました。 当日の活動模様を報告いたします。





















































コロナウイルスの感染拡大により2年連続中止。3年ぶりのクリーンアップ活動を「国土交通省近畿地方整備局淀川左岸河川事務所福島出張所」及び「地元此花区島屋振興町会」と連携協議し淀川左岸河川敷で実施しました。

上野協会長・沢田事務局長と朝8時に現地に到着すると、すでに数人の会員が集まっていて、早速、協会旗・クリーンアップ横断幕を設置し、軍手・ゴミ袋・消毒アルコール・手洗い等の用意をしました。堤防に上がると風もあり爽やかな天気ですが、活動中は気温も上がりそうで熱中症対策が必要のようです。

9時から協会長の挨拶、環境部長の収集分別の説明があり、今日の収集目標は一人3袋(45ℓ)以上でお願いをして活動を開始しました。 気温の上昇もあり午前10時半に終了しました。ゴミ量は、燃えるゴミが100袋、缶・ビン・ペットボトルが100袋、燃えないゴミが100袋相当ありました。目標の3袋を大きく上回り倍の6袋相当が収集でき、会員の頑張りに感謝です。

今回も会員が用意した自転車がゴミ袋の運搬には大いに役立ちました。今年も、外来種「アルゼンチンアリ」の駆除のために一袋毎に薬剤を注入しました。

朝 9 時からの 2 時間の活動でしたが、堤防河川敷を散歩・ジョギング・サイクリングする人達や地元のみなさんには喜んでもらえると思います。 ゴミ袋を提供いただいた「親潮の会」、冷たい飲み物を用意いただいた役員にはお礼申し上げます。

大阪協会 環境部長 本屋敷 保生